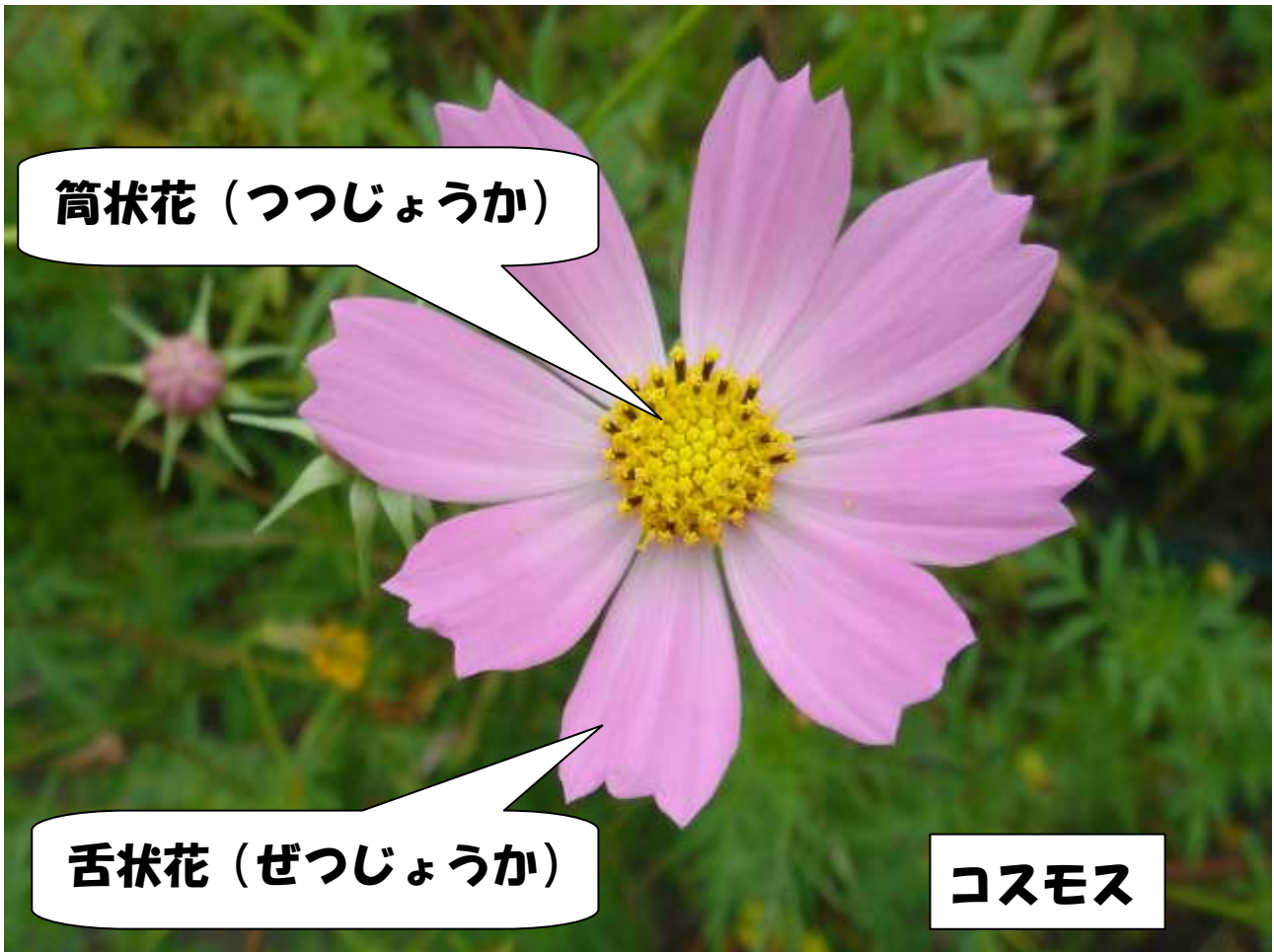


花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年10月4日 NO.46



花ちゃん 「うわあー！コスモスのお花のアップですね。」

オー君 「筒状花（つつじょうか）というのは、まん中の黄色い小さな花ですね。」

花ちゃん 「小さく丸い『つつ』のようだから、そのように言うのですね。」

オー君 「ピンクは、舌状花（ぜつじょうか）というんですね。何だかむずかしいよび方だな。舌（ぜつ）とは口の中のしたということですね。」

花ちゃん 「舌（した）というのは、べろということですね。8枚ありますね。」

モンタ博士「そうだね。コスモスは、筒状花（つつじょうか）と舌状花（ぜつじょうか）の2種類の花からできているということなんだね。ところで、コスモスによく似た花で、みんながよく知っているものがあるだろう。何だかわかるかな。ヒントは夏の花さ。」

花ちゃん 「夏の花？夏、夏…わかった。ヒマワリだ。ヒマワリの花のつくりとコスモスは同じなんだ。種になるところは、筒状花の所ですね。」

モンタ博士 「だいぶわかってきたようだね。だから、コスモスの花も種ができるのは、真ん中の花の所だということですね。」

オー君 「あれ？ちょっとまって、キクの仲間には、アザミやタンポポもあるんでしょう。ちょっと、花がちがうようだけど、でも、にているところもあるし……。頭がこんがらがってきちゃうよ。」

モンタ博士 「下の2枚の写真を見ると、よくわかると思うよ。」



花ちゃん 「あ！そうか、アザミの花は、筒状花ばかりの花ということですね。コスモスのまん中の花ばかりがたくさん集まってできた花なんだわ。」

オー君 「そうか、タンポポの花は、舌状花ばかりの花ということですね。コスモスのまわりの花ばかりがたくさん集まってできた花なんだ。」

モンタ博士 「二人ともよいところに気がついたね。」

オー君 「モンタ博士、花にはいろいろな形があるんですね。」

モンタ博士 「その通りだよ。よいところに気がついたね。コスモスやアザミやタンポポなどは、キク科というグループの花なんだよ。」

花ちゃん 「つまり、植物といってもいろいろなグループがあって、それぞれ花の形やつくりの特徴（とくちょう）があるということですね。」

モンタ博士 「花びらが5枚のものや4枚のもの。それから3枚もあるよ。花びらがはなれていなくて、くっついてしまったものもあるんだ。そのお話はまた今度ね。」